

# 既存ルールをぶっ壊す！高卒就職支援のJOBドラフト ジンジブ

## 中小企業こそ、新卒採用

JOBドラフトは、高校生に特化した求人サイトおよび採用支援サービスで、2015年8月3日にスタートしました。

私は大学卒業後、人材ヘッドハンティング会社へ入社し「優秀な人材を採るのに採用費は惜しんではいけない」「採用投資はトコトンお金をかけても安い」とクライアントから高額な報酬を頂き、採用支援を行っていました。

その後26歳で起業。いざ自分が念願の零細企業の社長になって、得意分野の“人”で最も苦労します。限られた予算で求人広告や人材紹介会社に依頼するも、創業間もない、比較的不人気の業界の企業に思うように応募は来ませんでした。それでも前職で学んだ「組織発展の根底には新卒採用が重要」を信じ、思い切って新卒採用に挑戦したところ、将来性のある学生が応募してくれました。中小企業こそ組織を強くするために**新卒採用が重要**だと実感しました。



2014年、縁あって人と未来グループへ参画。株式会社ジンジブを設立し人材紹介業を開始。ある成長会社と出逢います。20代で活躍する部長、課長が非常に多い印象を受けました。話を聞くと、「**大卒ではなく高卒採用に注力している**」と言うのです。これまで新卒採用を推奨する中で“高卒採用”を考えたことはありませんでした。調べると長年の規制や慣習が多く存在していることが分かります。高校を介した応募、ハローワークの求人管理、一人一社制の慣習、厳密な採用スケジュール...。高校生を守るための制度がある側面では**情報不足**を生み、高校生の職業選択の自由を奪い、安直な就職や早期離職につながっているのではと憤りを覚えます。

高校現場では、現状に疑問なく就職活動が行われていましたし、また以前の私のように、若手人材を採用したくても手法が分からない企業も多いことがわかりました。グループの創業社長の佐々木も高卒で社会に出た経験もあり、高校生の就職支援を行うJOBドラフトをスタートすることとなりました。

サービス開始後、多くの企業様、学校関係者の皆様、行政の皆様のご支持を頂き、今では高卒採用支援のパイオニアとして、様々な取り組みを行っております。

## 「18万人の高校生の未来と中小企業を輝かせる」

社会人になるための準備教育や十分な就活情報を与えること、そして新たな採用市場を創出することで、高校生の将来の選択肢を広げることが私たちのミッションです。高校生が就職の正しい準備と情報を主体的に得て、開かれた就職活動ができる社会と、学歴に捉われないことなく、若手の幹部候補が多く活躍する世の中を目指し、サービスを進化させて参ります。

株式会社ジンジブ 代表取締役 草場勇介

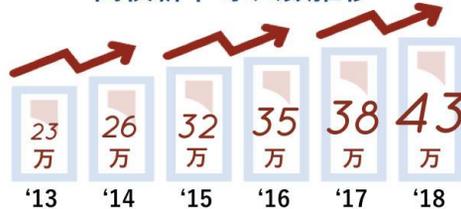
## < 高校生の就職市況について >

厚生労働省発表データによると、毎年高校生の卒業後の就職者数は約18万人。例年大学卒で就職する総数の約半数です。求人数はここ例年で増加傾向で、企業ニーズの高まりがうかがえます。

大学新卒 就職者数 高校新卒 就職者数



高校新卒 求人数推移



2018年3月卒業の就職状況を振り返ると、内定率は過去最高の**99.3%**、求人数は**約43万3千人**、求人倍率は**2.53倍**でバブル期以来の高さでした。9月末時点の内定率が**62.7%**で内定の早期化も特徴でした。

ハローワーク求人に係る 求人・求職・就職内定状況の推移 (3月末現在)



ハローワーク求人に係る 就職内定状況の推移 (3月末現在)

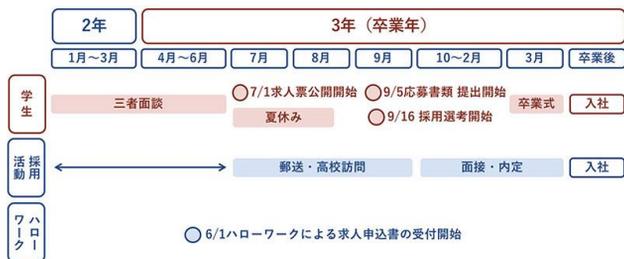
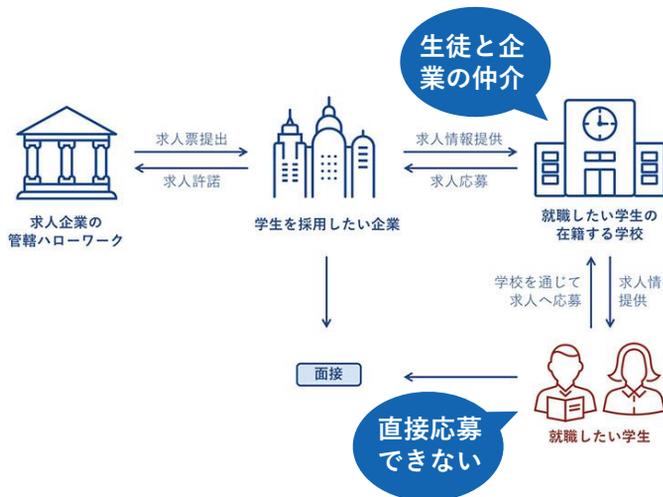


# < 高校生の就職活動のしくみとスケジュール >

高校生の就職活動は、健全な学校教育を最優先かつ適正な就職の機会を与えるため、行政（厚生労働省・文部科学省）と学校組織（全国高等学校長協会）、主要経済団体の三者間でルールとスケジュールを決め周知しています。企業はハローワークへ求人票提出、生徒は学校を通じての応募フローや、応募解禁日の9月から一定の期日までは一人一社のみ受験する「一人一社制」が決められています。

## 19年3月卒採用選考スケジュール

- 6月1日 ハローワーク：求人申込書の受付開始
- 7月1日 企業：求人票公開・学校訪問開始  
生徒：職場見学
- 9月5日 学校：企業への応募書類提出（沖縄県は8月30日）
- 9月16日 企業：選考開始および採用内定開始



# < 高校生の採用・就職活動の課題点 >

## 1. 独自のルール「一人一社制」

生徒は学校から推薦を受け、企業に応募しますが、9月の応募受付開始から一定の時期まで(※1)、基本「1社」単願応募で、内定を受けた場合は就職することになっています。落ちた場合は他の企業に応募ができます。大卒のように複数の企業にエントリーする、併願して選考を進めることは出来ません。学校が生徒を公平に、フォローをしながら就職させることができます。良い側面もありますが、校内選抜がある場合、制とは受けたい企業に応募すらできない場合もあるのです。

※1 都道府県ごとにスケジュールを毎年発表しています。

### 都道府県ごとのスケジュールの例

埼玉	9月中までは一人一社制、10月1日以降は、事業主の承諾を得た場合に限り複数の応募・推薦(原則2社まで)を認める。
千葉	9月中までは一人一社制、10月1日以降1人原則2社まで応募・推薦を可能とする。
東京	9月中までは一人一社制、10月1日以降1人2社まで応募・推薦を可能とする。(ただし、道府県の企業に応募する場合は、応募先の応募・推薦の申し合わせを適用する。)
神奈川	9月中までは一人一社制、10月1日以降1人2社まで応募・推薦を可能とする。

## 2. 求人情報の機会損失

生徒は学校の進路指導教員に指導を受けながら、応募企業を決めます。社会経験がほとんどない高校生の職業選択の幅を広げることは指導者として必要ですが、企業勤めの経験がない教員も多いのが現実です。毎年関係性が深い企業へ薦めることや、初めて知る企業、なじみの薄い業種や職種への情報収集が不足することは容易に想像ができます。そのためか、新たに企業が高卒採用を開始しても応募すら来ないことは珍しくありません。

またハローワークへ提出する求人票は文章のみの情報。職場見学も行いますが基本1回。高校生自身も企業の情報収集に不安を抱くことも多くあります。高校生・企業どちらも機会損失を起こしており、この点は民間企業がサポートに回り高校生の職業選択の幅を広げるサポートをすべきと考えています。



## 3. 早期離職

1年目の早期離職です。高校生の1年目の離職率は18.1%と大卒の11.8%と大きく差が生じています。(※2)一人一社制、情報の機会損失により、幅広い選択肢が得られていると言い難いのが現状です。本来、高校生を守り、支援するためのルールが、「働く現実」との乖離や情報不足を生み、ミスマッチを生む一因となっていると推察しています。

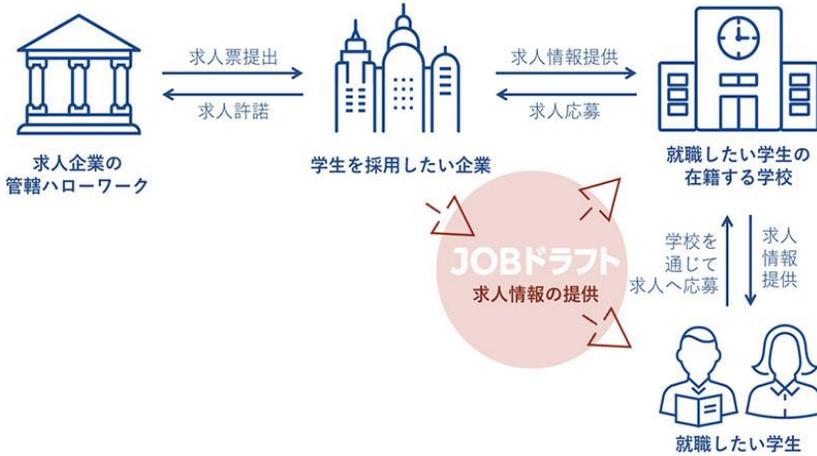


※2 「新規学卒者の離職状況(平成25年3月卒業者の状況)を公表します」 厚生労働省発表

# < JOBドラフト の特徴 >

JOBドラフトは、学生を採用したい企業と就職したい生徒が在籍する高校と高校生を、求人サイト、冊子、イベント、個別相談など、**情報テクノロジーと現場の情報**を駆使して高校生の就職・採用のマッチング支援を行います。

## JOBドラフトを使った場合の高卒採用活動



## < 運営メディア >



## 情報テクノロジーの強み

### これまでは難しかった高校生への直接情報アプローチ

掲載求人件数No.1の求人サイトJOBドラフト（19卒は利用企業約390社、2018年4月時点で18卒1,200名以上の応募実績）では、大卒や転職の求人サイトでは当たり前に行われている、企業の魅力や働く人・社風・理念を、高校生に向けて伝えています。高校生の就職の決め手のNo.1は「会社の雰囲気」。写真・動画・高校生へメッセージなど、会社の雰囲気や働く人の顔、高校生が知りたい本当のところをPRします。気になった企業へは「職場見学」でお問い合わせが可能。応募に必要な情報は先生ログイン画面でのみ確認ができますので現行のルールに沿った就職活動が可能です。



## < その他運営メディア >

### 高校生を直接サポート ドラフトカフェ

高校生専用の就職活動に特化した情報メディアを運営



### JOBドラフトBOOK版

高校現場で進路指導教員と使うことを想定した冊子。19卒は4・7月の年2回発行・約50,000部配布



### 人事向け支援

月一回の勉強会ジンジクラブと高校生採用のナレッジ「高卒採用Lab」を運営



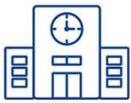
## 現場力の強み

### 全国高校とのネットワーク直接アプローチ

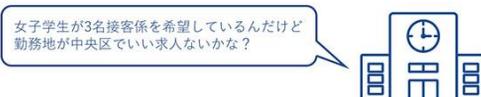
スタッフによる直接高校訪問や電話と、独自に構築した高校データベースを基に、学校ごとの特色や、生徒・先生にどのようにアプローチするか、いつ何をすべきかサポートが可能です。高校から生徒の相談を受け企業を紹介することも。

#### 定期訪問（連絡）

毎月の就職希望の生徒数と意向の把握



#### 中央区の高校の例



希望の中で合致するような求人だった場合、積極的にアピールします。  
※JOBドラフトの貴社情報と求人票を、高校の先生にお届けします。

## 学校へのサポート

高校との連携を強め、就職に関するサポートを行います。キャリア教育サポートや就職活動サポートを通して高校との信頼関係を築いています。



## < JOBドラフト企業向けサポート >

### 採用コンサルティング

独自に構築した高校データベースを基に、学校ごとの特色や、生徒・先生にどのようにアプローチするか、いつ何をすべきかサポートしています。高校への訪問同行や求人票発送の代行、名刺交換会の主催も行っていきます。

### 人事向け勉強会・メディアの運営

JOBドラフト掲載企業向けの勉強会「ジンジブクラブ」を月に1回開催しています。講義ではなくグループワークを通じて業界を超え、人事の情報共有を行います。「高卒採用Lab」は高校生の就職採用の基本情報や高卒採用Lab独自の調査結果、インタビューを掲載するメディアです。

## < JOBドラフト高校生向けサポート >

### ドラフトカフェ

就職活動のスケジュール、業界や職種理解、職場見学や面接、自己PRのポイント、高卒先輩社会人の体験談や、高校生のトレンドや、身近な興味・関心ごとを切り口とし、高校生に将来の可能性を提案する情報メディアです。



ドラフトカフェ・記事



### BOOK版発行

高校現場で先生と使うことを想定した冊子です。JOBドラフトに掲載する求人情報の他に就職活動のノウハウや情報をまとめています。19卒は4・7月の年2回発行・約50,000部配布いたします。



高校の進路相談室の様子

### 進路ガイダンス

学校授業内で、社会人経験談、企業講和、働くこと、求人票の見方、自己分析、仕事選びのポイントなど学年・時期に合った授業を行っています。これまでのべ約2,000名の生徒を動員しました。



横浜総合高校でのガイダンス

### 合同企業説明会

19卒から7月と10月に、生徒が参加できる合同説明会を開催します。社内中央には、「ドラフトカフェ」という就活相談ブースも設置。19卒は14回開催予定。



### 名刺交換会

多種多様な企業と高校の進路指導教員が出会い情報交換ができる交流会です。7月の求人情報公開後は高校生も参加可能です。



名刺交換会

### ルーキーズクラブ

3日間の新卒採用の受入研修を行っています。社会人としての前向きな思考を、チーム分けし体験と座学で学びます。社会人のマインドセットを行い企業に戻ります。



ルーキーズクラブ

### SNS就職相談室

ドラフトカフェではLINEで直接ドラフトカフェスタッフが求人紹介や就職に関する相談に乗っています。高校と連携し応募支援を行ったり、無事に内定の報告をくれる生徒もいます。Twitterで毎日求人情報の配信も行っています。



LINE相談室

### 個別進路相談

高校に出向き、1対1の個別進路相談を行っています。自己分析、企業選びの相談、企業紹介、面接対策まで行います。

校内での個別面談の様子



### 職業研究バスツアー／職業体験インターン

バスで職場見学ツアーを行います。仕事の魅力や会社の雰囲気を感じ、職業選択の視野を広げます。／ジンジブでの営業同行体験し様々な企業に訪問。職業観を身につけます。



バスツアー（介護施設体験）



営業インターン（アパレル企業訪問）

### 高校独自の取り組み

高校との連携を強め、独自のサポートを行っています。N高等学校では、エンジニア就職希望の生徒に特化した求人サイト「@N高」の運営、ルネサンス高等学校とは動画やメディアを活用したキャリア教育支援を行います。

